

## 芸術・文化賞

氏名 ドナルド キーン  
(Donald KEENE)

生年月日 1922年6月18日(69歳)

国籍 アメリカ



### プロフィール

ニューヨークに生まれたドナルド・キーン氏は、コロンビア大学で比較文学を専攻していたとき、東洋に興味を持ち、日本語を学び始めた。その後、米海軍日本語学校を経て、コロンビア大学大学院等で本格的な日本文学研究に取り組み、さらに英国ケンブリッジ大学で研究を重ねるとともに日本語講師を務めた。その間、『日本人の西洋発見』を始めとする優れた著作を発表し、1953年には京都大学にも留学して、近世文学を中心に一層の研鑽をつんだ。

1960年に母校コロンビア大学の教授に就任後も、一年の大半を日本で過ごすようになった同氏は、徒然草や近松等の古典文学から太宰治、三島由紀夫を始めとする現代文学、能・狂言等の芸能にわたる幅広い研究を続けている。数多くの著作の中でも、特に大著『日本文学史』(全7巻)は、個人執筆の文学通史として画期的な作品であり、次代の研究者に確固たる基盤を与えている。日本文学・文化の研究、翻訳を通じて、世界中の読者に日本文学、アジア文化のすばらしさを広く紹介した功績は高く評価される。

### 主な著作

『日本の文学』、『日本人の西洋発見』1952 『碧い眼の太郎冠者』1958

『Four Major Plays of Chikamatsu』ニューヨーク, 1961 『Landscapes and Portraits』

東京, 1971 『日本との出会い』1972 『World Within Walls』1976

『日本文学史——近代・現代篇(一・二・三・四・五)』1976~89 『日本細見』1980

『私の日本文学逍遙』1981 『日本人の質問』1983

『百代の過客——日記にみる日本人(上・下)』1984 『日本文学史——近世篇(上・下)』1986

『少し耳の痛くなる話』1986 『二つの母国に生きて』1987

『続百代の過客——日記にみる日本人(上・下)』,

『The Pleasure of Japanese Literature』ニューヨーク, 1988

『日本人の美意識』、『古典を楽しむ』1990